

第 6 編 様式編

1 被害状況の報告

1-1 被害状況即報

市 町 村			区 分			被 害							
災 害 名 ・ 報 告 番 号	災害名		第	報		田	流失・埋没	ha					
	(月 日 時現在)						冠 水	ha					
報 告 者 名			畑			文 教 施 設	流失・埋没	ha					
							冠 水	ha					
区 分	被 害		病 院			道 路	箇所						
							箇所						
人 的 被 害	死 者	人	橋 り よ う			河 川	箇所						
	行 方 不 明 者	人					港 湾	箇所					
	負 傷 者	重 傷		人				砂 防	箇所				
		軽 傷		人					清 掃 施 設	箇所			
住 家 被 害	全 壊		崖 崩 れ	棟		鉄 道 不 通				箇所			
				世帯			被 害 船 舶 隻			箇所			
				人				水 道		戸			
	半 壊			棟					電 話	回線			
				世帯						電 気	戸		
				人							ガ ス	戸	
	一 部 破 損			棟				ブ ロ ッ ク 塀 等				箇所	
				世帯									
				人									
	床 上 浸 水			棟					罹 災 世 帯 数	世帯			
				世帯				罹 災 者 数		人			
				人						火 災 発 生	建 物	件	
床 下 浸 水		棟		危 険 物	件								
		世帯			そ の 他	件							
		人											
非 住 家	公 共 建 物	棟											
	そ の 他	棟											

区 分		被 害				
公立文教施設	千円			災 等 害 の 対 設 策 置		
農林水産業施設	千円					
公共土木施設	千円					
その他の公共施設	千円					
小 計	千円					
公共施設被害市町村数	団体			本 状 部 況		
そ の 他						
農 業 被 害	千円			災 適 害 用 救 助 状 況		
林 業 被 害	千円					
畜 産 被 害	千円					
水 産 被 害	千円					
商 工 被 害	千円					
そ の 他	千円			消防職員出動延人数	人	
被 害 総 額	千円			消防団員出動延人数	人	
備 考	災害発生場所 災害発生年月日 災害の種類概況 応急対策の状況 ・消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・避難の勧告・指示の状況 ・自主避難の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況 ・ボランティアセンター設置状況（設置の有無及び設置場所） ・ボランティアの活動状況（受入の有無及び派遣の有無等） ・その他関連事項					

※被害額は省略することができるものとする。

1-2 災害概況即報

災害名 _____

報告日時	月 日 時 分
市 町 村	
報告者名	
電話番号	

災害の状況	発生場所			発生日時		月 日 時 分				
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部破損	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等設置状況									

1-3 被害状況報告

概況	月	日	現在
中間	月	日	現在
確定	月	日	

災害の種別	
発生年月日	
発生場所	

区分				被害	区分				被害	区分				被害	対応措置等																																											
人的被害	死者	1	人	文教施設	全壊	30	箇所	農林地	農地	62	千円	市防災体制	発令	解除																																												
	行方不明	2	人		半壊	31	箇所		農業用施設	63	千円																																															
	負傷者	重傷	3		人	その他	32		箇所	林業用施設	64		千円																																													
		軽傷	4		人	(計)	33		箇所	共同利用施設(農林)	65		千円																																													
住家	全壊	5	棟	農地被害	田	流失、埋没	34	ha	共同利用施設(水産)	共同利用施設(水産)	66	千円	市水防体制	発令	解除																																											
		6	世帯			冠水	35	ha		(計)	67	千円																																														
		7	人			流失、埋没	36	ha		道路	68	千円																																														
	半壊	8	棟		畑	冠水	37	ha	橋りょう	69	千円	市災害対策本部	設置	解散																																												
		9	世帯			畦畔	38	箇所	河川	70	千円																																															
		10	人			一般休地	39	箇所	海岸	71	千円																																															
	一部破損	11	棟		農林水産業施設	農業用施設	40	箇所	港湾	72	千円	災害の害適	救用	助状																																												
		12	世帯			林業用施設	41	箇所	砂防	73	千円																																															
		13	人			共同利用施設(農林)	42	箇所	漁港	74	千円																																															
	床上浸水	14	棟		共同利用施設(水産)	共同利用施設(水産)	43	箇所	(計)	75	千円	病院	水道	清掃施設																																												
15		世帯	道路	44		箇所	その他	76	千円																																																	
16		人	橋りょう	45		箇所	一般	79	千円																																																	
床下浸水	17	棟	土木施設	河川	46	箇所	公営企業	80	千円	公社	市町村	(計)																																														
	18	世帯		海岸	47	箇所	81	千円																																																		
	19	人		港湾	48	箇所	82	千円																																																		
罹災者	世帯	20	世帯	衛生関係施設	砂防	49	箇所	83	千円	小計	公共施設被害市町村数	85	団体	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人																						
	人員	21	人		病院	51	箇所	84	千円																												86	千円	87	千円	88	千円	89	千円	90	千円	91	千円	92	千円	消防団員出動延人員	人						
非住家	公共建物	県	全壊	22	棟	衛生関係施設	水道	52	箇所	その他	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人																									
			市町村	全壊	24		棟	清掃施設	53																									箇所	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人	
		半壊	25	棟	商工関係		54	箇所	86																									千円																								87
	(計)	26	棟	がけくずれ	55	箇所	交通通信被害	鉄道不通	56	箇所	その他	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人																								
	全壊	27	棟	船舶被害	57	箇所		通信被害	船舶被害	57																									箇所	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人
	半壊	28	棟	通信被害	58	箇所			回線	58																									箇所																							
	(計)	29	棟	停電被害	59	軒数	その他	ガス被害	60	箇所	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88	千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人																									
文教施設	61	千円	農産被害	86	千円	林産被害	87	千円	畜産被害	88																								千円	水産被害	89	千円	商工被害	90	千円	その他	91	千円	被害総額	92	千円	消防職員出動延人員	人										

報告者	課	庁内電話
-----	---	------

明細表2

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

市町村名	床上浸水	床下浸水	世帯数	主たる被災地(字名)	原因
計	0	0	0		

明細表3 教育関係

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分		市町村名			
学 校	全壊	校数			
		学校名			
	半壊	校数			
		学校名			
文化財 建造物	全壊	棟数			
		名称			
	半壊	棟数			
		名称			
臨時休校をした 学校	小学校	校数			
		学校名			
	中学校	校数			
		学校名			
	高等学校	校数			
		学校名			
計			0	0	0

明細表4 公共施設関係

被害状況報告
概況 年 月 日 時 分現在
中間 年 月 日 時 分現在
確定 年 月 日 時 分
災害名

市町村名	区分	県庁舎		市庁舎		公立病院		公立診療所		し尿処理施設		ごみ処理施設	
		棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												

明細表5 道路、河川、農林水産施設関係

被害状況報告
概況 年 月 日 時 分現在
中間 年 月 日 時 分現在
確定 年 月 日 時 分
災害名

施設名	区分	位置		種類	延長巾員	復旧金額	内応急額	堤防高	今回水位	備考
		市町村	大字							

明細表6 急傾斜地、山地関係

被害状況報告
 概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分	市町村名	区 分				備考
	地区名	延長 (m)	面積 (㎡)	住家の被害 (戸)		

明細表7 農作物関係

被害状況報告
 概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分	市町村名					
水	冠 水	ha				
		t o n				
		千円				
	倒 伏	ha				
		t o n				
		千円				
稲	埋没・流出	ha				
		t o n				
		千円				
果	み かん	ha				
		t o n				
		千円				
	柿	ha				
		t o n				
		千円				
	桃	ha				
		t o n				
		千円				
	梅	ha				
		t o n				
		千円				
樹	そ の 他	ha				
		t o n				
		千円				
そさい	そ の 他	ha				
		t o n				
		千円				
	そ の 他					

別表 被害状況認定及び報告書記入の基準

被害の種類		報告番号	基準
人的被害	死者	1	当該災害が原因で死亡し、死体を確認したもの。又は死体を確認することができないが、死亡したことが確実なものとする。
	行方不明	2	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるものとする。
	重傷者	3	災害のため負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のあるもののうち1月以上の治療を要する見込みのもの。
	軽傷者	4	災害のため負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のあるもののうち1月未満で治療できる見込みのもの。
住家被害	住家		現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。
	世帯		生計を一にしている実際の生活単位をいう。
	住家全壊 (全壊・流失)	5~7	住家が滅失したもので、具体的には住家の損壊、若しくは流失した部分の床面積が、その住家の延べ面積の70%以上に達したもの又は住家の主要構造部の被害額が、その住家の時価の50%以上に達した程度のものとする。
	住家半壊 (半壊)	8~10	住家の損壊が甚しいが、補修すれば元通りに使用できるもので、具体的には損壊部分が、その住家の延べ面積の20%以上70%未満のもの又は住家の主要構造部の被害額がその住家の時価の20%以上50%未満のものとする。
	一部破損	11~13	全壊及び半壊にいたらない程度の住家の破損で補修を必要とする程度のものである。ただしガラスが数枚破損した程度のごく小さなものは除く。
	床上浸水	14~16	住家の床より上に浸水したもの及び全壊・半壊には該当しないが、土砂竹木のたい積により一時的に居住することができないものとする。
	床下浸水	17~19	床上浸水に至らない程度に浸水したものとする。
罹災者	罹災世帯	20	災害により被害をうけ、通常の生活を維持することができなくなった生計を一にしている世帯で、全壊、半壊、床上浸水により被害を受けた世帯をいう。
	罹災人員	21	罹災世帯の構成員をいう。
非住家	非住家		住家以外の建物でこの報告中他の被害箇所項目に属さないものとする。これらの施設に人が居住しているときは、当該部分は住家とする。
	公共建物	22~26	公用又は公共の用に供する建物。
	その他	27~29	公共建物以外の倉庫、土蔵、車庫等の建物（全壊、半壊したもののみ）をいう。
文教施設	文教施設	30~33	小、中、高校、特別支援学校、幼稚園における教育の用に供する施設。全壊、半壊は、住家の全壊、半壊に準じるものとする。
農地	田畑の流失埋没	34~37	田の耕土が流失し、又は砂利等のたい積のため、耕作が不能になったものとする。畑については、田の例に準じて取り扱うものとする。
	田畑の冠水	34~37	田については、稲の先端が見えなくなる程度に水につかったものとする。畑については田の例に準じて取り扱うものとする。
	畦畔	38	田及び畑の畦畔をいう。

2 災害救助法関係様式

2-1 災害救助費概算額調

様式1

災害救助費概算額調
(災害名)

紀の川市

種目別区分			員数	単価	金額	備考
I 救助業務に要した経費				円	円	
1 救助費						
(1)	避難所設置費	避難所	延人			
		福祉避難所	延人			
		ホテル・旅館など	延人			
		計	延人			
(2)	応急仮設住宅設置費	建設型応急住宅	戸			
		借上型仮設住宅	戸			
		計	戸			
(3)	炊出しその他による食品の給与費	延人				
(4)	飲料水の供給費					
(5)	被服寝具その他生活必需品給(貸)与費	全壊(焼)流出	世帯			
		半壊(焼)・床上浸水	世帯			
		計	世帯			
(6)	医療及び助産費	医療	延人			
		助産	延人			
		計	延人			
(7)	被災者の救出費	人				
(8)	被災した住宅の応急修理費	世帯				
(9)	生業に必要な資金の貸与費	世帯				
(10)	学用品の給与費	小学校児童	教科書	人		
			文房具等	人		
		中学校生徒	教科書	人		
			文房具等	人		
		高等学校等生徒	教科書	人		
			文房具等	人		
計	人					
(11)	埋葬費	大人	体			
		小人	体			
		計	体			
(12)	死体の搜索費	体				
(13)	死体の処理費	洗浄、縫合、消毒等	体			
		一時保存	体			
		検案	体			
		計	体			
(14)	障害物の除去費	世帯				
(15)	輸送費					
(16)	賃金職員等雇上費					
2	実費弁償費	人				
3	扶助金	件				
4	損失補償	件				
5	法第19条の補償					
II 救助事務に要した経費						
1	都道府県事務費					
2	市町村事務費					
3	法第20条第1項の求償に係る事務費					
(合計)						

2-2 災害救助基金報告書

様式2

令和〇〇年度災害救助基金報告書

紀の川市

概況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	A	円	備考
	当該年度における災害救助基金最少額	B	円	
	差引過△不足額	$A - B = C$	円	
	当該年度要積立額	D	円	
	当該年度積立予定額	E	円	
災害救助基金運用状況 (災害救助基金現在高内訳)	法第26条第1号の方法		円	
	同条第2号の方法		円	
	同条第3号の方法		円	
	計		円	
前年度決算状況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	F	円	
	災害救助基金最少額	G	円	
	差引過△不足額(F-G)	H	円	
	要積立額	I	円	
	積立額	J	円	
	支出額	K	円	
	応急仮設住宅私下収入金	基金繰入額	円	
		その他	円	
生業資金返還額	基金繰入額	円		
	その他	円		

(注)「前年度決算状況」の各欄のうち、額が確定していないものについては見込額とすること。

2-7 被服、寝具その他生活必需品の給与状況

様式7

被服、寝具その他生活必需品の給与状況

住家被害程度区分		世帯主 氏名	基礎とな った世帯構 成人員	給与月日	物資給与の品名			実支出額	備考
					市町村名				
			人	月 日				円	
計	全壊	世帯							
	半壊	世帯							

- (注) 1 住家の被害程度に、全壊(焼)流失又は半壊(焼)床上浸水の別を記入すること。
 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。
 3 「物資給与の品名」欄は、実際に給与した物品名を品名として記載し、各給与数を記入すること。
 4 「備考」欄は、別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

2-8 救護班活動状況

様式8

救護班活動状況

救護班

班長: 医師 氏名 印

月日	市(区)町 村名	品目	措置の概要	経費 円	備考
計				円	

(注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

2-9 病院、診療所医療実施状況

様式9

病院、診療所医療実施状況

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬		金額	備考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点		
計 機関	人								

(注)「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

2-10 助産台帳

様式10

助産台帳

分べん者 氏名	分べん 日時	助産機関名	市町村名	金額	備考
			分べん期間 月 日～月 日		
				円	
計					

2-11 被災者救出状況記録簿

様式11

被災者救出状況記録簿

年月日 月 日	救出用機械器具等		市町村名	備考
	機械器具等名称	数量	金額 円	
計				

- (注) 1 備考欄には使用した機械器具の使用用途概略を記載すること。
2 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。

2-12 住宅応急修理記録簿

様式 12

住宅応急修理記録簿

整理番号	世帯主氏名	応急修理期間 月 日～ 月 日	実支出額 円	市町村名	摘要
				応急修理箇所概要	
	計 世帯				

(注)1 実施に際し、複数の業者が施工した場合にはその旨を備考欄に記入すること。

2-14 学用品の給与状況

様式14

学用品の給与状況

学校名	学年	児童(生徒)氏名	親権者氏名	給与月日	給与品の内訳										市町村名	実支出額	備考
					教科書					その他学用品							
					国語	算数	理科	社会	その他	鉛筆	ノート	絵の具セット	習字セット	その他			
小学校		人															
中学校		人															
高校		人															

- (注) 1 当該様式は、小学校、中学校、高等学校等教育機関の別に作成すること。
 2 支給する学用品の品目については、教科書、文房具、通学用品、その他の学用品の範囲で個々の実情に応じて給与するものである。
 3 給与月日欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与年月日を記入する。
 4 給与品の内訳欄には、数量を記入し、備考欄には別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

2-16 死体処理台帳

様式16

死体処理台帳

処理 年月日	死体発見 の日時 及び場所	死亡者 氏名	遺族		洗浄等の処理			死体の 一時保存	市町村名		
			氏名	死亡者 との関係	品名	数量	金額		検案料	実支出額	備考
							円	円	円	円	
計		人									

2-17 障害物除去の状況

様式17

障害物除去の状況

整理番号	住家被害程度区分	除去に要した期間 月 日～ 月 日	市町村名	除去に要すべき状態の概要	備考
			実支出額 円		
計	半壊(焼)	世帯			
	床上浸水	世帯			

(注)1 除去に際し、複数の業者が施工した場合はその旨を備考欄に記入すること。

2-18 輸送記録簿

様式18

輸送記録簿

輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等			修繕					市町村名		
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕 費	故障の 概要	燃料費	実支 出額	備考
			種類	台数		名称番号	所有者氏名						
月 日					円				円		円		
計													

- (注)1 「目的」欄は主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。
 2 県又は市町の車両による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償無償を問わず記入すること。
 4 借上等に「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

2-19 実費弁償

様式19

(1) 令第4条第1号から第4号までに規定する者の従事状況

職種	従業員数		従事場所 (市町村)	従事期 間	実支出額				市町村名	算定基準 による 算定額	備考
	実人員	延人員			日当	旅費	時間外 勤務手 当	計			
医師及び歯科 医師	人	人			円	円	円	円	円		
薬剤師											
保健師・助産 師・看護師											
土木技術者											
建築技術者											
大工左官及び とび職											
計											

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式20

(2) 令第4条第5号から第10号までに規定する者の従事状況

業者		従事者		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額 円	備考
業種	数	実人員 人	延人員 人				
土木建築業者							
地方鉄道業者							
軌道経営者							
自動車 運送事業者							
船舶運送業者							
港湾運送業者							
計							

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式22

(4) 損失補償費の状況

種類	実支出額	積算基礎	備考
計			

- (注) 1 「種類」欄には、法第26条の管理、使用、保管および収容の別に区分して記入すること。
2 「基礎積算」欄には、損失補償の額の積算基礎を記入すること。
3 「備考」欄には、損失補償の概要を記入すること。

様式23

法第19条の補償費の状況

区 分	実 支 出 額			備 考
	員 数	単 価	金 額	
1 人件費		円	円	
(1) 旅費				
(2) 役務費				
(3) 時間外勤務手当 及び深夜手当				
2 救護所設置費				
(1) 救護器材費				
(2) 消耗器材費				
(3) 借上料損料				
3 救護諸費				
(1) 薬剤				
(2) 治療材料				
(3) 医療器具破損料				
(4) 衛星材料				
(5) 死体の処理費				
(6) その他				
4 輸送費				
5 賃金職員等雇上費				
6 その他の費用				
7 扶助金				
(1) 療養扶助金				
(2) 休業扶助金				
(3) 障害扶助金				
(4) 遺族扶助金				
(5) 葬祭扶助金				
(6) 打切扶助金				
8 事務費				
(1) 消耗品費				
(2) 通信運搬費				
(3) その他				
計				

(注)「区分」の欄には、適宜必要な欄を設けて費目別に記入すること。

災害救助法第19条 都道府県等は、その都道府県知事等が第16条の規定により委託した事項を実施するため、日本赤十字社が支弁した費用に対し、その費用のための寄附金その他の収入を控除した額を補償する。

3 避難所の運営

3-1 避難者名簿

避難者名簿

避難所名		居住グループ							
①	入所日時	年 月 日 時 分		要配慮区分※	職業	住所			
	ふりがな								
	代表者氏名								
②	家	ふりがな 氏 名	年 齢	性 別	避難状況※	※ 要配慮区分	職 業	電 話	()
								携帯電話	()
	族							家 の 被害状況	全壊・半壊・一部破損 停電・ガス停止・断水 電話不通
	構							親 族 等 連 絡 先	住所 氏名 電話 ()
	成							車 (使用者のみ)	車種 色 ナンバー
<<注意>>避難した人だけを書いてください。									
※ 注 意 点	避難状況 ア. 避難所 イ. テント ウ. 車 エ. 在宅避難者 オ. 帰宅困難者 カ. その他 要配慮区分 1. 要介護 2. 視覚障害 3. 聴覚障害 4. 言語障害 5. 肢体不自由 6. 内部障害 7. 知的障害 8. 精神障害 9. 発達障害 10. 認知症 11. 乳幼児 12. 妊産婦 13. 難病 14. 傷病 15. 外国人 16. アレルギー 17. その他 ()								
	備考 (特に配慮が必要なこと)								
③	個人情報の 取り扱い	ご家族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を避難者名簿等で公表し、また、他からの問い合わせに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでください。						希望しない	

- 活動班編成時の参考としますので、過去の職業も含め、できる限り記入をお願いします。
- 避難者名簿の掲示・公開に同意されない場合でも、親類縁者の方から個別の安否確認の問い合わせには応じる場合があります。
- 配偶者からの暴力、ストーカー行為、児童虐待等により個別の安否各確認の問い合わせに応じることに不都合がある方はその旨記載してください。
- 自分で記入できない方は、聞き取りますので、お申し出ください。

退所年月日	年 月 日	
退 出 先	住所：	
連 絡 先	電話番号： ()	携帯番号： ()
備 考		

避難者名簿（在宅避難者・車中泊用）

①	記入年月日	年 月 日 時 分				要配慮区分※	職業	住 所		
	ふりがな									
	代表者氏名									
②	家 族 構 成	ふりがな 氏 名	年 齢	性 別	避難状況※	※ 要配慮区分	職 業	電 話	()	
								携帯電話	()	
									所 属 自 治 会	
									家 の 被 害 状 況	全壊・半壊・一部破損 停電・ガス停止・断水 電話不通
									親 族 等 連 絡 先	住所 氏名 電話 ()
									車 (使用者のみ)	車種 色 ナンバー
※ 注 意 点	<<注意>>避難した人だけを書いてください。 避難状況 ア.避難所 イ.テント ウ.車 エ.在宅避難者 オ.帰宅困難者 カ.その他 要配慮区分 1. 要介護 2. 視覚障害 3. 聴覚障害 4. 言語障害 5. 肢体不自由 6. 内部障害 7. 知的障害 8. 精神障害 9. 発達障害 10. 認知症 11. 乳幼児 12. 妊産婦 13. 難病 14. 傷病 15. 外国人 16. アレルギー 17. その他 ()									
	備考（特に配慮が必要なこと）									
③	個人情報の 取り扱い	ご家族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を避難者名簿等で公表し、また、他からの問い合わせに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでください。						希望しない		
【車中泊の場合記入】車中泊場所（必要に応じて地図を記載）										

※1 避難者名簿の掲示・公開に同意されない場合でも、親類縁者の方からの個別の安否確認の問い合わせには応じる場合があります。

※2 配偶者からの暴力、ストーカー行為、児童虐待等の事情により個別の安否確認の問い合わせに応じることに不都合がある方はその旨記載してください。

3-2 避難所収容日誌

避難所

責任者認印	月日	収容人員	物品使用状況		記事	備考
			品名	数量		
計						

- 1 「収容人員」の欄は、当日の最多人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」の欄に記入すること。
- 2 「物品使用状況」の欄は、開設期間中に使用した品目別使用数量を記入すること。
- 3 他の市町村の住民を収容したときは、その住所氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

4 食糧の調達・供給

4-1 炊出し受給者名簿

炊出し場

世帯主 氏名	家族 数	月 日			7 日 間 小 計			8 日目以降 小 計			合 計	実支出 額	備 考
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			
計													

1 「備考」欄には、給食内容を記入すること。

4-2 食糧品現品給与簿

給与 年月日	給与 人員	食数	給与物品内訳			受領書				
			米	パン	缶詰	住所	世帯主	家族数	受領印	避難先 住所氏名

4-3 炊出しその他による食品給与物品受払簿

品名	単位・呼称						
年月日	摘要	受	払	残	購入単価	購入金額	備考
計							

- 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 最終行欄には、受払残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

4-4 炊出し用物品借用簿

品名	数量	期間	金額	所有者氏名	使用避難所名	備考

1 「期間」欄には、(月 日から 月 日まで 日間) と記入する。

5 自衛隊の派遣依頼

5-1 部隊等の派遣依頼書

第 号
年 月 日

和歌山県知事 殿

紀の川市長

部隊等の派遣依頼書

災害対策基本法第68条の2の規定により、部隊等の災害派遣を依頼します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を依頼する理由

- 2 派遣を希望する期間

- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 区域

 - (2) 活動内容

- 4 その他

5-2 部隊等の撤収依頼書

第 号
年 月 日

和歌山県知事 殿

紀の川市長

部隊等の撤収依頼書

○年○月○日災害派遣を受けた部隊等の撤収を下記のとおり依頼いたします。

記

- 1 撤収日付
- 2 撤収を依頼する理由

6 林野火災時の応援要請

6-1 林野火災用空中消火資機材借受申請書

第 号
年 月 日

和歌山県知事

殿

紀の川市長

林野火災用空中消火資機材借受申請書

和歌山県林野火災用空中消火資機材運用要綱第5条の規定により下記のとおり資機材を借り受けたいので申請します。

記

- 1 資機材借受けの目的
- 2 借受け希望資機材の種類及び数量
- 3 借受け希望期間
- 4 引渡し希望日時及び場所

6-2 林野火災用空中消火資機材使用報告書

第 号
年 月 日

和歌山県知事

殿

紀の川市長

林野火災用空中消火資機材使用報告書

年 月 日付け 消第 号により貸付け決定を受けた資機材の使用状況等について和歌山県林野火災用空中消火資機材運用要綱第11条の規定により下記のとおりですので報告いたします。

記

1 資機材の使用状況

2 その他

- (1) 火災発生日時
- (2) 火災発生場所
- (3) 鎮火日時
- (4) 出火原因
- (5) 被害状況
- (6) 消火活動状況
- (7) その他参考事項

7 ヘリコプターの運航要請

7-1 防災ヘリコプター緊急運航要請書 防災ヘリコプター緊急運航要請書

受信時間		時		分		現在	
1 要請機関名	TEL		発信者				
2 災害の種別	(1) 救急 (2) 救助 (3) 災害応急(調査・広報) (4) 火災防御 (5) その他						
3 活動内容	調査	広報	撮影	傷病者搬送	空中消火	救急	救助
	輸送 (品名数量)		その他 ()		
4 発生場所 及び 発生時間	市町村		地内				
	(発生時間)	年	月	日	時	分	
	(目 標)						
	(離着陸場所)						
5 現地の気象 条件	天候	風向	風速	気温			
	視程	m	気象予警報 (警報・注意報)			
6 現場指揮者	所属・職名・氏名						
7 現場との 連絡手段	無線種別 (主運用波 4 c h、統制波 1・2・3) 現場指揮本部 (車) 呼出名称 (コールサイン)						
8 要請を必要とする理由	<p>※ 災害の状況、要請する活動内容、受け入れ体制を記入すること (救助の場合には、事故の原因、事故の状況、人数等も記入のこと)</p>						
目 標	<p>別添地図のとおり ※目標が明確となる大きめの図面を添付のうえ、住宅地図のページ数を明記のこと</p>						

和歌山県防災航空センター TEL 0739-45-8211
FAX 0739-45-8213

9	傷病者	フリガナ			年齢	歳	性別	男・女	
		氏名							
	症状								
	離着場所の 目標等	出場先の 所在地 及び目標			搬送先の 所在地 及び目標				
	搭乗者	医師の氏名				関係者の 氏名			
		看護師の氏名							
	病院への搬送方法	救急車の手配	有・無		病院の手配	有・無			
	受入病院	所在地 名称			連絡先	TEL			
搬送先の消防本部の担当者職氏名				消防本部	課 TEL				
10 必要資機材									
11 他航空機への要請	有・無		(有の場合) 機関名		要請機数		機		
12 その他必要事項									

※ 以下の項目は、防災航空隊で出場の可否を決定の後、連絡します。

1 使用無線等	無線種別 (全国波、県波) 現場指揮本部 (車) 呼出名 (コールサイン)
2 到着予定時間	年 月 日 (曜日) 時 分
3 活動予定時間	時間 分
4 燃料の確保	要手配 ・ 手配不要 ℓ (ドラム缶 本)

受信者	和歌山県防災航空隊
-----	-----------

7-2 災害速報

災 害 速 報 (緊急運航第 号)

災害活動種別	1 救急	2 救助	3 災害応急(調査・広報)	4 火災防御	5 その他
要請機関名					
発生場所					
発生日時	年 月 日 () 時 分 頃				
要請日時	年 月 日 () 時 分			要請方法	電話及びFAX
事故概要					
要救助者(内訳)	死者(性別・年齢)	傷 病 者	重	症	名
	名		中	等	症
	行方不明者	名	軽	症	名
			そ	の	他
			名		
要救助者数	計		0	名	
活動の状況					
要救助者の住所・氏名等及び参考事項					
報告者氏名			活動従事者		

7-3 災害状況報告書

災 害 状 況 報 告 書

要請機関名			
要請活動種別	(1) 救急 (2) 救助 (3) 災害応急(調査・広報) (4) 火災防御 (5) その他		
発生場所			
発生日時	年 月 日 () 時 分 頃		
要請日時	年 月 日 () 時 分	要請方法	
事故概要			
災害発生場所の天候	天候_____ 風向_____m 視程_____ 気温_____℃ 注意報等_____ 発令中		
死傷者等	死者(性別・年齢) 計 名	負傷者等 うち重傷 軽傷	名 名 名
	行方不明 名		
要救護者数		救助人員	名
活動の状況			
その他参考事項			
報告者氏名			

8-2 救援物資受付簿

No.	受領日	住所		物資名	数量	備考
		氏	名			
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					

8-3 受領書

(義援金)

受 領 書		
様		
金		円也
ただし、義援金として上記正に受領いたしました。		
年	月	日
紀 の 川 市 長 印		

(救援物資)

受 領 書		
様		
物資名及び数量		
ただし、救援物資として上記正に受領いたしました。		
年	月	日
紀 の 川 市 長 印		

9 保健衛生

9-1 災害時における保健活動日報

避難所日報(避難者状況)		避難所名	避難所コード								
活動日	年 月 日	記載者(所属・職名・職種)									
◆配慮を要する者◆											
		人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数
高齢者(65歳以上)		人	人	障害者		人	人	服薬者		人	人
うち75歳以上		人	人	身体障害者		人	人	降任薬		人	人
要介護認定者		人	人	知的障害者		人	人	糖尿病薬		人	人
妊婦		人	人	精神障害者		人	人	向精神薬		人	人
じよく婦		人	人	難病患者		人	人	他の治療薬		人	人
乳児		人	人	在宅酸素療法・呼吸器療法		人	人	その他		人	人
幼児・児童		人	人	透析(腹膜透析含む)		人	人	要継続支援合計 人数(実人数)		人	
うち障害児・医療的ケア児		人	人	アレルギー疾患		人	人				
特記事項											
◆対応すべきニーズがある者◆ *まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズがある避難者数を記載する。											
		該当		特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)							
医療ニーズのある者		□無・□有 () 人									
うち医薬品がない者		□無・□有 () 人									
		該当		特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)							
保健福祉ニーズのある者		□無・□有 () 人									
高齢者		□無・□有 () 人									
障害者・児		□無・□有 () 人									
その他のケアが必要な者		□無・□有 () 人									
◆感染症・食中毒等症状がある者◆											
		該当		特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)							
総数(実人数)		□無・□有 () 人									
発熱		□無・□有 () 人									
咳・痰		□無・□有 () 人									
下痢・嘔吐		□無・□有 () 人									
対応内容・結果											
課題/申し送り											
(2020年版)		写真送信の場合は再度記載→				避難所コード					

10-2 罹災証明書

様式第3号（第4条関係）

第 号

罹災証明書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏名	続柄	生年月日
罹災原因	年 月 日の による		
被災住家の所在地			
住家の被害の程度			
浸水区分			

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

備考	
----	--

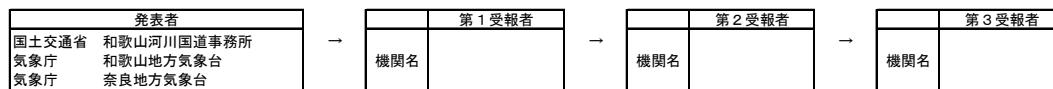
上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

紀の川市長

11 水防

11-1 紀の川洪水予報発表文例



正規

紀の川氾濫注意情報

紀の川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
令和〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分

和歌山河川国道事務所・和歌山地方気象台・奈良地方気象台 共同発表

（見出し）

【警戒レベル2相当情報〔洪水〕】紀の川では、当分の間、氾濫注意水位を超える水位が続く見込み

（主 文）

【警戒レベル2相当】紀の川の五條^{ごじょう}水位観測所（五條市^{ごじょうし}）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

【警戒レベル2相当】紀の川の三谷^{みたに}水位観測所（伊都郡かつらぎ町^{いとぐん}）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

【警戒レベル2相当】紀の川の船戸^{ふなと}水位観測所（岩出市^{いわだし}）では、当分の間、「氾濫注意水位」を超える水位が続く見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意して下さい。

（雨量）

所により1時間に〇〇ミリの雨が降っています。

この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
五條流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
三谷流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
船戸流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位)

紀の川の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m)及び流量(m ³ /s)		水防団 待機	氾濫 注意	避難 判断	氾濫 危険
五條 水位観測所 (五條市)	00日00時00分の状況	7.50 ↑	■■■■■			
	00日01時00分の予測	7.55	■■■■■			
	00日02時00分の予測	7.60	■■■■■			
	00日03時00分の予測	7.65	■■■■■			
	00日04時00分の予測	7.70	■■■■■			
	00日05時00分の予測	7.75	■■■■■			
	00日06時00分の予測	7.78	■■■■■			
三谷 水位観測所 (伊都郡かつらぎ町)	00日00時00分の状況	3.50 ↑	■■■■■			
	00日01時00分の予測	3.55	■■■■■			
	00日02時00分の予測	3.60	■■■■■			
	00日03時00分の予測	3.70	■■■■■			
	00日04時00分の予測	3.80	■■■■■			
	00日05時00分の予測	3.90	■■■■■			
	00日06時00分の予測	4.00	■■■■■			
船戸 水位観測所 (岩出市)	00日00時00分の状況	5.70 ↓	■■■■■			
	00日01時00分の予測	5.65 ↑	■■■■■			
	00日02時00分の予測	5.70	■■■■■			
	00日03時00分の予測	5.75	■■■■■			
	00日04時00分の予測	5.80	■■■■■			
	00日05時00分の予測	5.85	■■■■■			
	00日06時00分の予測	5.90	■■■■■			

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。

水位のグラフは各水位間を按分したものです。

水位危険度レベル4は、「氾濫危険水位」と「氾濫する可能性のある水位」を按分しています。堤防の決壊等により「氾濫する可能性のある水位」に到達する前に氾濫することもあるため、この水位は避難行動開始の目安ではありません。

(参考資料)

(単位:水位(m))

観測所名	五條水位観測所	三谷水位観測所	船戸水位観測所
	五條市	伊都郡かつらぎ町	岩出市
レベル4水位 氾濫危険水位※	8.10	4.80	7.00
レベル3水位 避難判断水位※	7.80	4.60	6.80
レベル2水位 氾濫注意水位	7.50	3.50	5.00
レベル1水位 水防団待機水位	5.00	2.00	4.00
受け持ち区間	紀の川 左岸 栄山寺橋(奈良県五條市)から和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境	紀の川 左岸 和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境から貴志川合流点(和歌山県紀の川市)	紀の川 左岸 貴志川合流点(和歌山県岩出市)から海まで
	右岸 栄山寺橋(奈良県五條市)から和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境	右岸 和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境から和歌山県紀の川市・同岩出市境	右岸 和歌山県紀の川市・同岩出市境から海まで
氾濫が発生した場合の浸水想定区域	奈良県○○○○○○○ 和歌山県○○○○○○○	和歌山県○○○○○○○	和歌山県○○○○○○○

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所

避難判断水位・氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報 水害リスクライン 気象庁ホームページ	パソコンから	携帯電話から
	https://www.river.go.jp https://frl.river.go.jp https://www.jma.go.jp/	

問い合わせ先

水位関係：国土交通省 和歌山河川国道事務所 電話：073-424-2471

気象関係：気象庁 和歌山地方気象台 電話：073-422-1328

気象庁 奈良地方気象台 電話：0742-22-2555

紀の川洪水予報(臨時)
令和〇年〇月〇日〇時〇分
国土交通省 和歌山河川国道事務所
気象庁 和歌山地方气象台
奈良地方气象台

「〇県の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

〇県の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、[紀の川の洪水はこれからも警戒が必要です / 和歌山県、奈良県などに降った大雨による洪水が、これから紀の川の下流に到達します]。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ **紀の川** では、 **氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

紀の川の 船戸 水位観測所(和歌山県岩出市) 区間において氾濫が発生。船戸 水位観測所(和歌山県岩出市)では、区間内での浸水範囲の拡大に注意が必要です。各自安全確保を図るなど、適切な防災行動を取ってください。

紀の川の 三谷 水位観測所(和歌山県伊都郡かつらぎ町)では、水位が上昇中であり、当分の間、氾濫危険水位を超える水位が続く見込み。氾濫のおそれあり。

紀の川の 五條 水位観測所(奈良県五條市)では、避難判断水位を超過しており、水位は上昇中。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
紀の川	船戸 (和歌山県岩出市)	氾濫発生中	浸水範囲の拡大に注意
紀の川	三谷 (和歌山県伊都郡かつらぎ町)	氾濫危険水位超過	水位上昇中
紀の川	五條 (奈良県五條市)	避難判断水位超過	水位上昇中

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係：国土交通省 和歌山河川国道事務所 tel:073-424-2471
気象関係：気象庁 和歌山地方气象台 tel:073-422-1328
奈良地方气象台 tel:0742-22-2555

11-2 紀の川水防警報・情報受信紙

水防警報情報発表用紙

紀の川	五條 三谷 船戸 貴志	水防	警報 情報	第 号	待機 準備 出動 解除	年 月 日 時 分	近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所発表
台風 号 前線 低気圧	のため	五條 三谷 船戸 貴志	地点の水位は	本日 昨日	時 分	現在	m cmで、
<p>今までの上流域の平均累加雨量は約 mmです。</p> <p>今後の降雨は 依然降り続く 小雨の 見込みで 五條三谷船戸貴志 地点の水位は 横ばいとなり 降り止む 低下</p> <p>計画高水位 氾濫危険水位 避難判断水位 見込みです。 氾濫注意水位 水防団待機水位</p> <p>第1段階 水防機関は、状況の変化に即応できるよう待機して下さい。 第2段階 水防機関は、出動の準備をして下さい。 第3段階 水防機関は、出動して下さい。 第4段階 水防警報を解除します。</p>							

災害対策部長	災害対策副部長	災害対策部付	対策班長	対策係長	主務

FAX宛先	マイクロ番号	確認時刻	送信者	受信者
本局河川管理課	86-3776			
流水調整課	771-6121~6122, 6131			
船戸出張所	771-6524~6526			
五條出張所	771-6541~6543			
紀の川ダム統合管理事務所	763-331~332			
奈良県河川課	769-9049			
和歌山県河川課	779-8-3074			
河川情報センター	718-21~24			

11-3 水位周知河川の水位情報受信様式

別紙-5



正規

○○川氾濫注意情報

○○年○○月○○日○○時○○分
国土交通省 ○○川河川事務所発表
(第○○号)

【主文】

【警戒レベル2相当情報〔洪水〕】○○川の□□□水位観測所（●●市△△）では、○○日○○時○○分頃に氾濫注意水位（△△△.△△m）に到達しました。洪水に関する情報に注意して下さい。

（参考）

○○川 □□□水位観測所（●●市△△）
（受け持ち区間は■市※※から□□町◎◎）

氾濫危険水位 (相当換算水位)	×××.××m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
避難判断水位	○○○.○○m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
氾濫注意水位	△△△.△△m	氾濫の発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の避難判断水位、氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

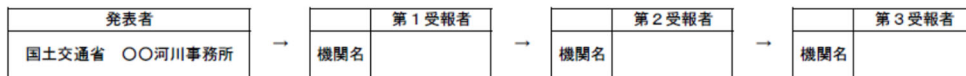
問い合わせ先
国土交通省 ○○河川事務所 ○○○課 電話：000-000-0000（内線）○○○

（参考）

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://i.river.go.jp/

別紙-5



正 規

○○川氾濫警戒情報

○○年○○月○○日○○時○○分
国土交通省 ○○川河川事務所発表
(第○○号)

【主文】

【警戒レベル3相当情報〔洪水〕】○○川の□□□水位観測所（●●市△△）では、○○日○○時○○分頃に、避難準備・高齢者等避難開始の発令の目安となる避難判断水位（○○○.○○m）に到達しました。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

（参考）

○○川 □□□水位観測所（●●市△△）
（受け持ち区間は■市※※から□□町◎◎）

氾濫危険水位 (相当換算水位)	×××.××m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
避難判断水位	○○○.○○m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
氾濫注意水位	△△△.△△m	氾濫の発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の避難判断水位、氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

問い合わせ先
国土交通省 ○○河川事務所 ○○○○課 電話：000-000-0000（内線）○○○

（参考）

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://i.river.go.jp/

別紙-5



正 規

○○川氾濫危険情報

○○年○○月○○日○○時○○分
国土交通省 ○○川河川事務所発表
(第○○号)

【主文】

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】 ○○川の□□□水位観測所 (●●市△△) では、○○日○○時○○分頃に、避難勧告の発令の目安となる氾濫危険水位 (×××. ××m) に到達しました。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

(参考)

○○川 □□□水位観測所 (●●市△△)
(受け持ち区間は■市※※から□□町◎◎)

氾濫危険水位 (相当換算水位)	×××. ××m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
避難判断水位	○○○. ○○m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
氾濫注意水位	△△△. △△m	氾濫の発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の避難判断水位、氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

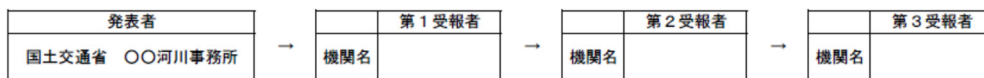
問い合わせ先
国土交通省 ○○河川事務所 ○○○○課 電話：000-000-0000 (内線) ○○○

(参考)

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://i.river.go.jp/

別紙-5



正 規

○○川氾濫発生情報

○○年○○月○○日○○時○○分
国土交通省 ○○川河川事務所発表
(第○○号)

【主文】

【警戒レベル5相当情報 [洪水]】○○川では、●●市●●地区(△△岸)付近より(堤防決壊による)氾濫が発生しました。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

(参考)

○○川 □□□水位観測所(●●市△△)
(受け持ち区間は■市※※から□□町◎◎)

氾濫危険水位 (相当換算水位)	×××.××m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
避難判断水位	○○○.○○m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
氾濫注意水位	△△△.△△m	氾濫の発生に対する注意を求める段階

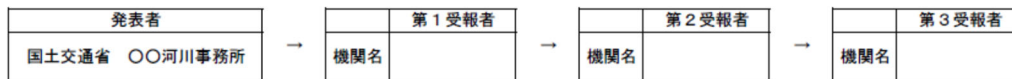
※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の避難判断水位、氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

問い合わせ先
国土交通省 ○○河川事務所 ○○○○課 電話：000-000-0000 (内線) ○○○

(参考)

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://i.river.go.jp/



正 規

○○川氾濫注意情報解除

○○年○○月○○日○○時○○分
国土交通省 ○○川河川事務所発表
(第○○号)

【主文】

○○川の□□□水位観測所(●●市△△)では、○○日○○時○○分頃に氾濫注意水位(△△△. △△m)を下回りました。

(参考)

○○川 □□□水位観測所(●●市△△)
(受け持ち区間は■市※※から□□町◎◎)

氾濫危険水位 (相当換算水位)	×××. ××m	水防法第13条で規定される洪水特別警戒水位 いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
避難判断水位	○○○. ○○m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
氾濫注意水位	△△△. △△m	氾濫の発生に対する注意を求める段階

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の避難判断水位、氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位。

問い合わせ先
国土交通省 ○○河川事務所 ○○○課 電話：000-000-0000 (内線) ○○○

(参考)

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://i.river.go.jp/

11-4 水防実施状況報告書

別紙様式

水防実施状況報告書

管理団体名								作成責任者	印				
水防活動実施の台風又は豪雨名								報告年月日	平成	年	月	日	
場 所	右 川 岸 左 地先 m							管理団体分	県支出分	計			
	地区												
日 時	自 月 日 時		至 月 日 時										
出 動 人 員	水防団員	消防団員	その他	計									
水防作業の概況及び工法													
水防の 結果	効果	堤防	田	畑	家 棟 世帯	鉄道	道路	人	所 要 費 用	出動手当	円	円	円
	被害	m	ha	ha	棟 世帯	m	m	人		食糧費			
										その他			
										計			
										主要資材費			
										その他資材費			
										材料等借料			
										その他			
										計			
他の団体よりの 応援出動状況									俵			枚	
居住者出動状況									かま			枚	
警察の援助状況									なわ			巻 m	
									丸太			本	
現場指導者 公 吏 氏 名									立退きの状況及び それを指示した 理由				
水防関係 者の死傷									水防功労者の氏名、 年齢、所属及び 功績概要				
備 考									堤防その他の施設 の異常の有無及び 緊急工事を必要と するものが生じた 時は、その場所及 び損傷状況				
									水防活動に関する 自己批判				

- (注) 1. この報告書は各水防管理団体において作成すること。
2. 水防箇所ごとに作成すること。

別紙様式(付図)

令和〇〇:台風〇号における水防活動
(〇〇県〇〇市消防団・平成〇〇年〇月〇日~〇日)

○概要

〇〇市消防団は、令和〇〇年〇月〇日、台風〇号に伴う集中豪雨に際し、延べ〇部隊〇名が出動。市内では、1時間雨量100mmを超える豪雨により河川が増水。各地で越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、堤防への土のう積みや住民の避難誘導、人命救助を行い人的被害軽減のため活動した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
〇/〇~〇/〇 約12時間	〇名	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう積み(300袋) ・避難誘導(20世帯) ・排水作業(3件)

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
堤防巡視

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
積み土のう工

水防活動または
被害状況写真

〇〇川右岸(〇〇地先)
月の輪工

水防活動または
被害状況写真

〇〇地区の浸水被害

水防活動実施箇所
地図

11-5 水防協力団体指定申請書

紀の川市水防協力団体指定申請書

年 月 日

紀の川市水防管理者

紀の川市長 様

住 所

(事務所所在地)

団体の名称

代表者氏名

水防法第36条第1項及び紀の川市水防協力団体指定要領第4の規定に基づき、紀の川市水防協力団体の指定を受けたいので、別添「水防協力団体協力活動業務計画書」(別紙2)を添えて申請します。

11-6 水防協力団体協力活動業務計画書

水防協力団体協力活動業務計画書

下記の紀の川市の実施する水防活動に協力します。

記

※ご協力いただける項目の番号に○印を記入してください

- I 河川巡視、土のうの袋詰め及び運搬、避難支援などの消防団又は消防機関が行う水防上必要な監視、警戒その他の水防活動への協力（指定要領3-（1）関係）
 - 1 災害時における土のうの袋詰めや運搬などの水防活動への支援
 - 2 災害時における小さな子供やお年寄りなどの災害時要援護者の救護
 - 3 災害時における住民に対する洪水注意報、警報などの情報の広報
 - 4 災害時における住民の避難誘導、避難所開設・運営への支援
- II 水防に必要な器具、資材又は設備の保管及びその提供（指定要領3-（2）関係）
具体的な資器材の種類・数量及び保管場所等
()
- III 水防協力団体の業務や活動を含む水防に関する広報活動、水防に関する情報の収集及びその提供（指定要領3-（3）関係）
 - 1 日常における河川管理施設や許可工作物の安全性の点検や巡視
 - 2 災害時における河川水位状況、雨量、強風状況などの情報連絡
- IV 水防に関する意識調査、実態調査等の水防に関する調査研究（指定要領3-（4）関係）
 - 1 市が作成する洪水ハザードマップの配布
- V 講習会や研修会等の実施等の水防に関する知識の普及及び啓発（指定要領3-（5）関係）
 - 1 実体験等に基づく、浸水箇所や危険箇所などの地域住民に対する水防知識の講習
- VI 水防意識の高揚を図るための自主的なパンフレットの作成、各種行事等の開催等（指定要領3-（6）関係）
 - 1 消防団が開催する水防演習への参加
 - 2 住民の避難訓練の実施

◎その他ご協力いただける活動がありましたら内容をご記入ください。

()

11-7 水防協力団体認定書

紀の川市水防協力団体認定書	
	年 月 日
住 所 (事務所所在地)	
団体の名称	
代 表 者	様
	紀の川市水防管理者 紀の川市長
<p>水防法第36条第1項及び紀の川市水防協力団体指定要領第4の規定に基づき、貴団体を紀の川市水防協力団体に指定します。</p>	

11-8 水防協力団体協力活動報告書

紀の川市水防協力団体協力活動報告書	
	年 月 日
紀の川市水防管理者 紀の川市長	様
	住 所 (事務所所在地) 団体の名称 代表者氏名
<p>別紙のとおり水防活動を実施しましたので、紀の川市水防協力団体指定要領第6の規定に基づき提出します。</p>	

11-9 水防法の大規模事業所申出書

年 月 日	
(宛先) 紀の川市長 申出書 (新 規 ・ 変 更) 所 有 者 ・ 管 理 者 (共 同 で の 申 出 の 場 合 は 代 表 者) 住 所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号 担当者名 ()	
水防法第15条第1項のただし書き規定に基づき、紀の川市地域防災計画に名称及び所在地を定める大規模な工場その他の施設として申し出ます。	
施設の名称 (変更の場合は) (変更後の名称)	
施設の所在地 (変更の場合は) (変更後の所在地)	
施設の用途・規模 その他必要事項 (変更の場合は) (変更事項)	用 途 : 工 場 ・ 作 業 場 ・ 倉 庫 延 べ 面 積 : m ² その他必要事項 :
洪水予報等の伝達先 (※電話番号、FAX、) (担当者等)	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ※欄は、記入しないこと。
- ※ 申出する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

11-10 避難確保計画・浸水防止計画作成報告書

(宛先) 紀の川市長 洪水時等避難確保計画・浸水防止計画作成(変更)報告書 所有者・管理者 (共同での報告の場合は代表者) 住所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号	年 月 日 担当者 ()
水防法第15条の(2・3・4)項の規定に基づき、別添のとおり洪水時等の避難確保計画・浸水防止計画作成(変更)したので報告します。	
施設の名称 (変更の場合は) (変更後の名称)	
施設の所在地	
施設の用途 その他必要事項 (変更の場合は) (主要な変更事項)	
洪水予報等の伝達先 (※電話番号、FAX、) (担当者等)	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ※欄は、記入しないこと。
 - 3 「避難確保計画」「浸水防止計画」のうち、報告しないものは消すこと。
- ※ 報告する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

11-11 自衛水防組織及び統括管理者等の連絡先報告書

年 月 日		
(宛先) 紀の川市長 自衛水防組織及び統括管理者等の連絡先 (変更) 報告書 所有者・管理者 (共同での報告の場合は代表者) 住所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号 担当者 ()		
水防法第15条の(2・3・4)の規定に基づき、自衛水防組織の構成員等を別添のとおり報告します。		
施設の名称 (変更の場合は 変更後の名称)		
施設の所在地		
自衛水防組織の設置	統括管理者の氏名・連絡先	
	洪水予報等の伝達を受ける構成員の氏名及び連絡先	
	自衛水防組織の内部組織の編成及び構成員	別紙「自衛水防組織図」のとおり
※ 受 付 印 ※ 経 過 欄		

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ※欄は、記入しないこと。
 - 3 自衛水防組織図を添付すること。
- ※ 報告する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入してください。

11-12 申出の取下げ届出書

(宛先) 紀の川市長 申出の取下げ届出書 所有者・管理者 (共同の場合は代表者) 住所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号	年 月 日 担当者 ()
紀の川市地域防災計画に定める大規模工場その他の施設として申出していた事項について、申出を下記の理由により取下げます。	
施設の名称	
施設の所在地	
申出を取り下げる理由	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- ※ 届出する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

13 受援計画

13-1 受援管理シート

【受援管理シート】

基礎情報

受援業務名		受援期間 (予定)	
各課受援 窓口担当	組織名		職・氏名
受援業務担当	組織名		職・氏名
業務分担		業務内容	
紀の川市 職員	応援 職員		

①【応援必要数等報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

	報告日時	
必要人員数及び期間	備考（人数内訳、要件、資機材、集合場所等）	

②【要請先との調整結果伝達】 受援班から各課受援窓口担当へ

			報告日時	
応援可能数	応援団体	期間	備考	

③【応援受入報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

			報告日時	
応援受入数	応援団体	備考		

13-2 人的応援要請・受入報告書

【人的応援要請・受入報告書】

報告者

受援課名	
窓口担当者	

報告先（人的受援調整班）



担当者名	
------	--

①【要請内容報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

		報告日時	
要請日時			
要請先	団体名		
	連絡窓口	所属	
		職・氏名	
		連絡先	
根拠			
要請方法（文書の場合は写しを添付）			
要請内容	業務名		
	活動場所		
	要件		
	人員数		
	派遣期間		
	その他		

②【応援受入報告】 各課受援窓口担当から人的受援調整班へ

		報告日時	
受入日時			
受入人員			
その他			

